

令和5年度第3四半期連結決算概要

令和6年1月30日

東海旅客鉄道株式会社

- ・コロナ禍からの回復に伴い、東海道新幹線・在来線ともにご利用が増加したことなどから、**連結営業収益は前年と比べ増加**。一方、営業費は、当社の物件費やグループ会社における売上原価の増等により増加したが、**増収・増益の決算**。
- ・通期の業績予想は、**第3四半期における運輸収入の実績を反映し、収益・利益を上方修正する**。引き続き、安全・安定輸送の確保を最優先に輸送機関としての使命を果たしつつ、コロナ禍で加速した働き方の変化、労働力人口の減少等、当社を取り巻く環境が大きく変化していることを踏まえ、ICT等の最新の技術を活用して効率的な業務執行体制を構築する「業務改革」と新しい発想による「収益の拡大」の2つを柱とした経営体力の再強化に取り組む。

1. 連結損益の概要（累計）

(1) 営業収益 1兆2,730億円（対前年同期+2,538億円、24.9%増）

- ・当社の**運輸収入は、対前年同期2,211億円（28.3%）増の1兆38億円**。

- ・東海道新幹線については、「のぞみ12本ダイヤ」を活用して、需要にあわせた弾力的な列車設定を行うなど、輸送サービスの充実に取り組んだ。また、「エクスプレス予約」及び「スマートEX」をより多くのお客様にご利用いただくため、「EX旅パック」、「EX旅先予約」、「EXポイント」、1年前予約といったサービスを開始した。さらに、「貸切車両パッケージ」や「推し旅アップデート」の展開等、魅力ある旅行商品等を販売したほか、「そうだ 京都、行こう。」、「いざいざ奈良」、「会いにいこう」等のキャンペーンを引き続き展開した。
- ・在来線については、「しなの」、「ひだ」等の特急列車について、需要にあわせた弾力的な増結や増発を行うとともに、ハイブリッド方式を採用した新型特急車両HC85系について、一昨年の「ひだ」での営業運転開始に続いて、「南紀」での営業運転を開始し、全車両の投入を完了した。
- ・上記の結果、東海道新幹線の運輸収入は対前年同期2,117億円（29.4%）増の9,320億円、在来線の運輸収入は対前年同期93億円（15.0%）増の717億円となった。
- ・鉄道以外の事業においては、JRセントラルタワーズとJRゲートタワーを一体的に運営したほか、流通業の連結子会社2社を合併して株式会社JR東海リテイリング・プラスを発足させ、便利で魅力ある駅構内店舗づくりを進めるなど、収益の拡大を図った結果、グループ全体でも増収。

(2) 営業費 7,704億円（対前年同期+576億円、8.1%増）**(3) 営業利益 5,025億円（対前年同期+1,962億円、64.0%増）****(4) 営業外損益 △474億円（対前年同期+44億円）****(5) 経常利益 4,551億円（対前年同期+2,006億円、78.8%増）****(6) 親会社株主に帰属する四半期純利益 3,187億円（対前年同期+1,381億円、76.4%増）**

2. 当期の業績予想

- ・通期の業績予想は、第3四半期における運輸収入の実績を反映し、**営業収益1兆6,580億円（前期比18.4%増）、営業利益5,330億円（同42.3%増）、経常利益4,640億円（同50.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益3,300億円（同50.4%増）に修正する**。

※ 金額は単位未満端数切捨（補足説明資料2以降についても同じ）

比較第3四半期損益計算書【連結】

(単位 億円、%)

科 目	令和4年度 累 計	令和5年度 累 計	増 減	前期比
営 業 収 益	10,191	12,730	2,538	124.9
運 輸 業	8,218	10,427	2,209	126.9
流 通 業	954	1,131	177	118.6
不 動 産 業	334	372	37	111.3
そ の 他	684	797	113	116.6
営 業 費	7,127	7,704	576	108.1
営 業 利 益	3,063	5,025	1,962	164.0
営 業 外 損 益	△ 518	△ 474	44	91.5
営 業 外 収 益	105	147	41	139.5
営 業 外 費 用	624	622	△ 2	99.6
経 常 利 益	2,544	4,551	2,006	178.8
特 別 損 益	△ 4	△ 9	△ 5	227.7
税金等調整前四半期純利益	2,540	4,541	2,001	178.8
法 人 税 等	725	1,329	603	183.3
四 半 期 純 利 益	1,815	3,212	1,397	177.0
非支配株主に帰属する 四半期純利益	9	25	16	279.2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,806	3,187	1,381	176.4
四 半 期 包 括 利 益	1,798	3,393	1,594	188.6

(注) 営業収益の内訳は、セグメント別の外部顧客への売上高

比較第3四半期損益計算書【単体】

(単位 億円、%)

科 目	令和4年度 累 計	令和5年度 累 計	増 減	前期比
営 業 収 益	8,368	10,580	2,211	126.4
運 輸 収 入	7,826	10,038	2,211	128.3
そ の 他 の 収 入	542	542	0	100.0
営 業 費	5,460	5,841	381	107.0
人 件 費	1,276	1,316	39	103.1
物 件 費	2,395	2,709	314	113.1
租 税 公 課	289	320	31	110.8
減 価 償 却 費	1,498	1,494	△ 4	99.7
営 業 利 益	2,908	4,739	1,830	162.9
営 業 外 損 益	△ 530	△ 487	42	92.0
営 業 外 収 益	99	138	39	140.2
営 業 外 費 用	629	626	△ 2	99.6
経 常 利 益	2,378	4,251	1,873	178.8
特 別 損 益	4	1	△ 3	29.8
税引前四半期純利益	2,383	4,252	1,869	178.5
法 人 税 等	705	1,246	540	176.6
四 半 期 純 利 益	1,677	3,006	1,328	179.2

輸送人キロおよび運輸収入の比較（第3四半期）

(単位 百万人キロ、億円、%)

			令和4年度 累 計	令和5年度 累 計	増 減	前期比	(参考) 令和5年度 10~12月	前期比
輸 送 人 キ ロ	新 幹 線	定 期	833	908	74	108.9	308	108.5
		定期外	30,139	38,686	8,546	128.4	13,855	118.7
		合 計	30,973	39,593	8,621	127.8	14,163	118.5
	在 来 線	定 期	3,771	3,888	116	103.1	1,312	103.2
		定期外	2,119	2,510	391	118.5	870	115.4
		合 計	5,890	6,397	508	108.6	2,182	107.8
	合 計	定 期	4,605	4,795	191	104.1	1,620	104.2
		定期外	32,258	41,195	8,938	127.7	14,724	118.5
		合 計	36,862	45,991	9,128	124.8	16,344	116.9
運 輸 収 入	新 幹 線	定 期	98	106	8	(77.0) 108.2	36	(78.7) 108.0
		定期外	7,104	9,214	2,109	(95.1) 129.7	3,348	(99.2) 122.0
		合 計	7,202	9,320	2,117	(94.8) 129.4	3,384	(98.9) 121.9
	在 来 線	定 期	230	238	8	(88.9) 103.6	79	(89.5) 103.6
		定期外	393	479	85	(91.5) 121.7	166	(93.7) 117.7
		合 計	623	717	93	(90.6) 115.0	246	(92.3) 112.7
	合 計	定 期	328	344	16	(84.8) 105.0	115	(85.8) 105.0
		定期外	7,498	9,693	2,195	(94.9) 129.3	3,515	(98.9) 121.8
		合 計	7,826	10,038	2,211	(94.5) 128.3	3,630	(98.5) 121.2
	合計 (小荷物含む)		7,826	10,038	2,211	(94.5) 128.3	3,630	(98.5) 121.2

- (注) 1. 当社単体に係る輸送人キロおよび運輸収入を記載
 2. 輸送人キロは単位未満端数四捨五入
 3. 前期比欄の()内は、平成30年度との比較を記載

比較第3四半期貸借対照表【連結】

(単位 億円)

科 目	令和4年度 期 末	令和5年度 第3四半期末	増 減
流 動 資 産	27,122	26,554	△ 568
うち 中央新幹線建設資金管理信託	15,852	13,842	△ 2,010
固 定 資 産	68,021	70,739	2,717
有 形 ・ 無 形 固 定 資 産	57,720	58,386	666
投 資 そ の 他 の 資 産	10,301	12,352	2,051
資 産 合 計	95,144	97,293	2,149
流 動 負 債	7,294	6,680	△ 614
固 定 負 債	49,778	49,429	△ 349
負 債 合 計	57,072	56,109	△ 963
純 資 産 合 計	38,071	41,183	3,112
負 債 純 資 産 合 計	95,144	97,293	2,149
(再掲) 長期債務	49,498	48,528	△ 969
中央新幹線建設長期借入金	30,000	30,000	-
社 債	9,088	7,898	△ 1,189
長 期 借 入 金	5,210	5,464	254
鉄道施設購入長期未払金	5,199	5,165	△ 34

通期の業績予想【連結】

(単位 億円、%)

科 目	令和4年度 (実績) A	令和5年度 (前回予想) B	令和5年度 (今回予想) C	対前回予想		対前年実績	
				増 減 C-B	比 率 C/B	増 減 C-A	比 率 C/A
営 業 収 益	14,002	16,270	16,580	310	101.9	2,577	118.4
営 業 費	10,257	11,250	11,250	—	100.0	992	109.7
営 業 利 益	3,745	5,020	5,330	310	106.2	1,584	142.3
経 常 利 益	3,074	4,330	4,640	310	107.2	1,565	150.9
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	2,194	3,080	3,300	220	107.1	1,105	150.4

通期の業績予想【単体】

(単位 億円、%)

科 目	令和4年度 (実績) A	令和5年度 (前回予想) B	令和5年度 (今回予想) C	対前回予想		対前年実績	
				増 減 C-B	比 率 C/B	増 減 C-A	比 率 C/A
営 業 収 益	11,433	13,460	13,770	310	102.3	2,336	120.4
[うち運輸収入]	10,699	12,730	13,040	310	102.4	2,340	121.9
営 業 費	7,970	8,710	8,710	—	100.0	739	109.3
営 業 利 益	3,463	4,750	5,060	310	106.5	1,596	146.1
経 常 利 益	2,788	4,060	4,370	310	107.6	1,581	156.7
当 期 純 利 益	2,019	2,900	3,120	220	107.6	1,100	154.5

参考:セグメント情報(実績)

(単位 億円、%)

科 目		令和4年度 累 計	令和5年度 累 計	増 減	前期比
営業収益	運輸業	8,296	10,511	2,214	126.7
	流通業	1,010	1,185	175	117.4
	不動産業	571	619	47	108.3
	その他	1,638	1,672	34	102.1
	調整額	△ 1,325	△ 1,258	66	95.0
	計	10,191	12,730	2,538	124.9
セグメント利益 (営業利益)	運輸業	2,843	4,684	1,840	164.7
	流通業	54	93	38	171.3
	不動産業	151	178	26	117.5
	その他	24	80	56	330.7
	調整額	△ 10	△ 11	△ 0	104.5
	計	3,063	5,025	1,962	164.0

- (注) 1. セグメント別の営業収益は、外部顧客への売上高のほか、他セグメントへの売上高を含む
 2. 「調整額」欄は、セグメント間取引の相殺消去

参考:セグメント情報(通期の業績予想)

(単位 億円、%)

科 目		令和4年度 (実績) A	令和5年度 (前回予想) B	令和5年度 (今回予想) C	対前回予想		対前年実績	
					増 減 C-B	比 率 C/B	増 減 C-A	比 率 C/A
営業収益	運輸業	11,340	13,360	13,670	310	102.3	2,329	120.5
	流通業	1,387	1,540	1,540	—	100.0	152	111.0
	不動産業	773	810	810	—	100.0	36	104.7
	その他	2,494	2,540	2,540	—	100.0	45	101.8
	調整額	△ 1,993	△ 1,980	△ 1,980	—	100.0	13	99.3
	計	14,002	16,270	16,580	310	101.9	2,577	118.4
セグメント利益 (営業利益)	運輸業	3,385	4,670	4,980	310	106.6	1,594	147.1
	流通業	83	100	100	—	100.0	16	120.3
	不動産業	173	180	180	—	100.0	6	103.7
	その他	100	110	110	—	100.0	9	109.5
	調整額	2	△ 40	△ 40	—	100.0	△ 42	—
	計	3,745	5,020	5,330	310	106.2	1,584	142.3

- (注) 1. セグメント別の営業収益は、外部顧客への売上高のほか、他セグメントへの売上高を含む
 2. 「調整額」欄は、セグメント間取引の相殺消去